

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	福利厚生委員会事務	所管	総合政策部 職員課
			TEL 2998-9048

事業の目的 (何の為に 行うか)	職員の保健、元気回復のため。
------------------------	----------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全職員(常勤の特別職を含む)	対象とした数	2,672
		実際に 利用した数	2,672

活動の内容	(何を したか)	1 職員の保健、元気回復その他厚生に関する事業について計画する。 2 職員福利厚生委員会において、事業内容を検討し、決定する。 3 福利厚生委員会の決定を受け、事業を実施する。(各所属長への文書等で事業内容を周知する。)							
	活動実績	項目名	職場厚生活動交付金	41	項目名	施設等利用補助事業申請者数	60	項目名	単位
			単位 %			単位 %			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	42,500	42,500	46,070	135.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	施設等利用補助事業申請者数	申請者数/全職員数	80	60	75.0
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 []	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課コード 010700 Tel 2998-9048
事業コード 010710	福利厚生委員会事務	
開始年度 昭和 61 年度 → 終了年度 平成 年度		部課 総合政策部 職員課
		グループ 厚生担当

②事業の概要	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	地方公務員法第42条 所沢市職員福利厚生委員会規則
	関連・類似事業	
	総合計画の体系	政策 第8章 計画の推進に向けて 施策 3節 行政運営 中柱 2 組織の活性化 小柱 (5) 職員の安全衛生の充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 35 位 ・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	
	コード 3261	事務事業見直しの推進
	事業開始の背景 地方公務員法第42条の定めるとおり、職員の福利厚生については所沢市職員福利厚生委員会を設置し実施することにした。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 職員の保健、元気回復のため。 対象(誰を、何を対象としているのか) 全職員(常勤の特別職を含む)	利用数の考え方 一人の職員が多くの事業を利用できるため、対象者数と利用者数を同数とした。
	対象数 単位	利用数 単位
	平成 18 年度 2,696	平成 18 年度 2,696
	平成 19 年度 2,672	平成 19 年度 2,672
	事業の具体的な内容及び実施方法	
	1 職員の保健、元気回復その他厚生に関する事業について計画する。 2 職員福利厚生委員会において、事業内容を検討し、決定する。 3 福利厚生委員会の決定を受け、事業を実施する。(各所属長への文書等で事業内容を周知する。)	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点
	適正な福利厚生を取り巻く社会情勢を鑑み、施設等利用補助申請の限度額を引き下げ(1万円→8,000円)、また職場厚生活動交付金も限度額を引き下げた(7,000円→5,000円)。またこれらの申請に際して、適正な執行を行うため領収書の添付を必須とした。また、リフレッシュ休暇に伴う現金給付を廃止し、それに代わり記念品を支給することにした。

⑤経費	《会計種別》 一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算	42,500	42,500	42,000
	決算 (見込み含む)	42,500	42,500	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)	
	正規職員人件費	0.45 人 4,140	0.38 人 3,570	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費			
	事業費合計	46,640	46,070	
	財源内訳	一般財源 46,640	46,070	42,000
		国・県支出金		
		受益者負担金		
		市債		
		その他		
	市民一人当たり(単位:円)	138.0	135.9	
	利用数一単位あたり(単位:円)	17,299.7	17,241.7	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	職場厚生活動交付金	申請所属数/全所属数	%	58	41	60	70
		施設等利用補助事業申請者数	申請者数/全職員数	%	73	60	70	75
	成果分析	施設等利用補助事業申請者数	申請者数/全職員数	%	目標値	80	80	70
実績					73	60	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
				達成率	91.3	75.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		所沢市職員福利厚生委員会	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	職場厚生活動交付金、施設等利用補助申請については、19年度より領収書の添付を必須としたため、申請率が大幅に低下したが、20年度以降、福利厚生ニュースやメール等で周知を増やし、利用者数を伸ばしていきたい。については、多くの職員が福利厚生事業を利用し心身のリフレッシュを図ることで快適に職務に専念できる環境づくりを目指していきたい。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	(19年度申請率が低下した)職場厚生活動交付金・施設等利用補助申請の申請率を上げる	前年度比最低10%以上の引き上げ	平成20年度中	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	公務員の福利厚生を取り巻く状況や市の財政は厳しいが、一方では、多様化・高度化する行政需要などに伴い、職員が心身ともに健康で職務に専念できる環境づくりが求められている。このため、多くの職員に利用しやすく、かつ適正に事業を実施していく。			
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	職員担当 平野 澄彦	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価	評価理由	評価日						
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
		評価理由	評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			